

供給計画の概要

1. 販売計画

年度 項目	平成 25 (実績)	26 (推定実績)	27	28	29	30	31	36	平成 25～36 年度 年平均伸び率
販売電力量 (億 kWh)	1,404 (1,382)	1,344 (1,347)	1,362 (1,358)	1,367	1,372	1,376	1,383	1,416	0.2 %
最大電力 (万 kW)	2,707 (2,602)	2,517 (2,515)	2,523	2,536	2,540	2,543	2,546	2,563	▲0.1%
年負荷率 (%)	62.5 (63.8)	64.4 (64.6)	64.9 (64.9)	65.0	65.1	65.3	65.5	66.6	-

注 1 : () 内は気温閏補正後の値

注 2 : 最大電力は、夏季最大 3 日平均電力 (送電端)

注 3 : 平成 25～36 年度 年平均伸び率については気温閏補正後の値

2. 電源開発計画

発電所名	出力 (万 kW)	運転開始 (廃止)	備考
相生 1, 3 号機 〔重油・原油 → LNG・重油・原油〕※ ¹	75	28 年度	着工準備中
赤穂 〔重油・原油 → 石炭〕※ ²	120	32 年度	着工準備中
和歌山 〔LNG〕	370	37 年度以降	着工準備中
出し平 〔水力〕	0.05	27-12	工事中
市荒川 1 号機 三尾 1 号機 三田 1 号機 伊奈川第二 橋谷 黒部川第二 1 号機 長殿 〔水力〕※ ³	19.75(0.55)	27- 4 ～ 30- 6	工事中
市川 丸山 1, 2 号機 黒部川第二 2, 3 号機 〔水力〕※ ³	21.74(0.39)	28- 3 ～ 33-11	着工準備中
美浜 1, 2 号機 〔原子力〕	84	27- 4	廃止予定
姫路第二 既設 5, 6 号機 〔LNG〕	120	32 年度	廃止予定

※¹ 相生発電所 1, 3 号機の出力変更はなく、現行の重油・原油に加え、LNG を利用する設備への改造※² 赤穂発電所の出力変更はなく、現行の重油・原油から石炭を利用する設備への改造※³ 設備更新工事による出力増【()内は増分】

○赤穂発電所におけるボイラ・燃料設備改造工事の概要

赤穂発電所は現在、重油・原油を燃料として利用しているが、ボイラ・燃料設備の改造工事を実施することにより、調達の安定性や経済性に優れた石炭を利用できるようにするもの。

所在地：兵庫県赤穂市加里屋字東沖手 1062 番地

各プラントの概要：

	1号機	2号機
運転開始	昭和62年9月	昭和62年12月
定格出力	60万kW	60万kW
燃料	重油、原油 → 石炭	重油、原油 → 石炭

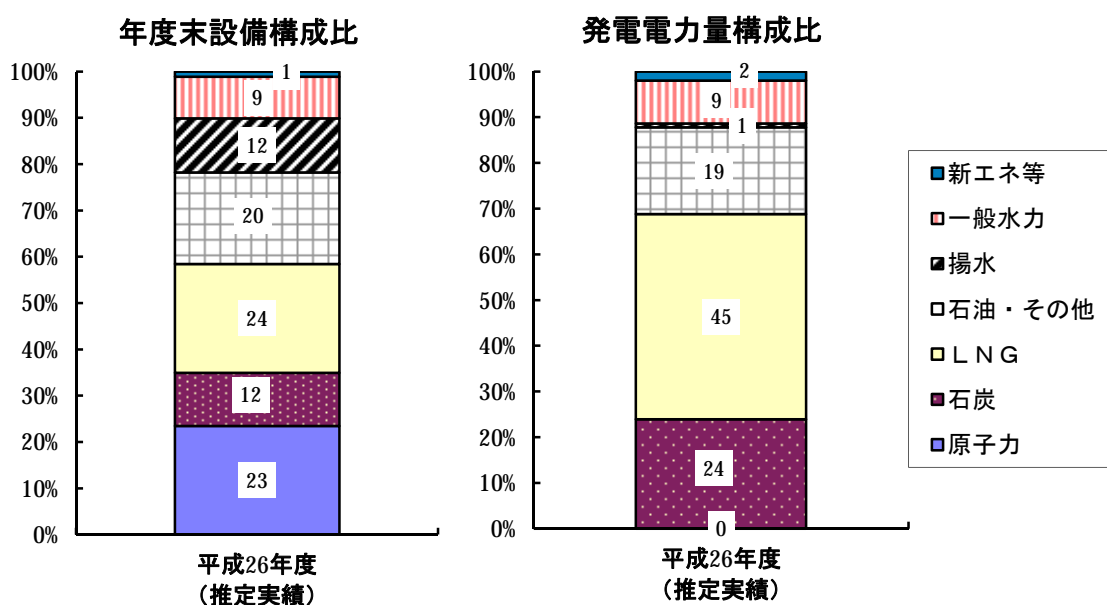
3. 電力需給計画

○8月最大電力バランス

項目 \ 年度	平成26 (実績)	27	28	29	30	31	36
最大電力* (万kW)	2,436	2,523	2,536	2,540	2,543	2,546	2,563
供給力計 (万kW)	2,827	未定	未定	未定	未定	未定	未定
供給予備率 (%)	16.0	未定	未定	未定	未定	未定	未定

※ 最大電力は、最大3日平均電力（送電端）

○電源構成比率



注1：年度末設備には他社受電分を含む

注2：発電電力量は自社需要に対応する電力量構成比

注3：四捨五入の関係で合計が100とならない場合がある

